

輝 継



発行者
諫早市立真城中学校
校長 山内 昇

学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。（徳育）
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造力に富む生徒を育成する。（知育）
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。（体育）

○ 「ほめる」ことの効果

先日、PTA関係の会合で、保護者の方とお話する機会がありました。その際に、「学校だより」のことが



話題にあがりました。スマホで見やすい縦長のレイアウトの工夫、給食のメニューの紹介が好評であるというお言葉をかけていただきました。やはり、そのようなお声掛けをいただくと、「よし！頑張ろう！」という気持ちがより一層強くなり、キーボードを叩く音も軽快なスピードで、あっという間に記事が一つ完成してしまいました！！大人でもそう感じるのですから、子どもたちはなおさらだと思います。子どもたちの頑張り、成長に目を向け、最適なタイミングで心の栄養となる「声」をかけることができる大人になりたいと思います。もちろん、ほめるばかりではなく、毅然とした助言をする場面、寄り添い話を聞く場面など、様々な対応を織り交ぜていきたいと思います。

○ 第1回避難訓練を実施しました

18日（金）に、本年度の第1回避難訓練を実施しました。今回の避難訓練は、基本的な避難経路の確認という位置づけでしたが、生徒たちは真剣に取り組み、迅速に避難場所（体育倉庫前）に移動し、集合することができました。今の日本では、「火災」のほかに「地震」、最近では「不審者」対応の訓練も行われることがあります。また、県中総体の運営マニュアルには、「ミサイルが飛来した場合」というものもあります。私も、ミサイルが飛来した場合や、原子力災害が発生した場合のマニュアルも作成したこともあります。

今、子どもたちの周囲には様々な「危機」が存在しています。自分の命を自分で守れる判断力も身に付けてほしいと願っています。その基礎となるものが、今回の避難訓練だと思います。2学期は、消防署の方もお招きしての訓練になる予定です。生徒一人一人の意識を高める取組を継続していきたいと思います。

○ 生徒の感想を紹介します！

- ・移動するときにあせって転んだりしないように、冷静に移動するべきだと思いました。そして、本当に火災などが起こったときのためにも、避難訓練は真剣に、そして冷静にしなければならないと思いました。（3年：川上さん）
- ・自分では真剣に取り組むことができたと思うけど、本番ではパニックになると思うから、そんなときでも自然と訓練のように行動できるくらい、次はもっと頑張りたい。（3年：石本さん）

2人の感想から、避難訓練の大切さをしっかりと理解することができていることが伝わりました。このような活動をするたびに、大切なお子さまの「生命」を守ることの重要性和責任の重みを痛感しています。

○ 今日の給食（21日）「まごは（わ）やさしい」

21日（月）は、和風のメニューでした。ボリューム満点の「ホキフライ」、「沢煮椀」に加えて、気温が高い日にサッパリできる「みそドレッシングあえ」で食が進みました。



タイトルの「まごは（わ）やさしい」ですが、日本の古くからの食についての考え方で、バランスのよい食事についてうまく表現したものです。

ま：豆類、 ご：ゴマ、 は（わ）：海藻、
やさ：野菜、 しい：しいたけ（キノコ）

最初の豆類はどこかと考えると、「みそ」に含まれています。1回の食事で、「まごは（わ）やさしい」の全てが入っていることに感激しました！給食のメニューは本当によく考えられていると感じます。給食時に、生徒たちがみそドレッシング和えを苦手としているようだったのが少し残念です。

ちなみに、先日の「からあげ」の日にパインのサラダがありました。パインの成分が肉の消化を助けるそうです。深く掘り下げていくと、いろいろなことがわかります。また、「ホキ」という魚については、別の機会に紹介したいと思います。意外と身近なことに驚かされると思います。